



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

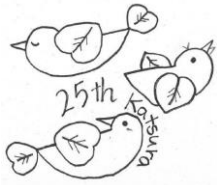
9月号

令和3年9月1日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活については HP をご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校 HP の QR コードはこちら→



「当たり前」は「ありがたい」

校長 寺澤 みゆき

37日間の夏休みとそれに続く臨時休業が終わり、本日より前期後半の授業が再開しました。日数こそ「例年通り」、それ以上の長い夏休みでしたが、猛暑と豪雨による災害、新型コロナウイルスの爆発的な拡大に伴い、緊急事態宣言下の分散登校といったかたちでの学校再開への準備で、保護者の皆様同様、教職員も心休まらない日々でした。

それでも、登校してきた子どもたちの元気な声と笑顔から、子どもにとっては楽しみや充実感のあった夏休みだったことが伺え、うれしく思いました。

休業中にも何度か耳にした「数十年に一度の大雨」「100年に1回の大雨」という言葉、そして、感染状況により突然（数日後に）適応される「まん延防止等重点措置」「緊急事態宣言」によって「例年通り」や「当たり前」にできること・できていたことがどんなにありがたいことだったかを、改めて感じる機会が何度もありました。

今まで深く考えることもなく口にしてきた「当たり前」という言葉が気になり、改めて調べてみたところ、意外なことに反対語としてあがっていた言葉は、「ありがたい（有り難い）」でした。

「当たり前」の語源は、『共同で鳥獣や魚、穀物などを得たときの、一人当たりの分け前を「当たり前」といい、それを受け取るのは当然であることから意味が転じた』ものであること、「ありがたい」の語源は『めったにないことという意味の形容詞「有り難し」が変化し、めったに起こらない貴重な出来事への感謝の言葉となったもの』とのことです。語源まで辿っていくと、なるほど、と納得できるものでした。

例年通りに、当たり前にできていたことができなくなったり、できることでも、一からやり方を考え、今までとは全く違うやり方に変えざるを得なくなったりすることが今や、日常となりました。「当たり前」と思っていたことを「ありがたいこと」と思い直し、感謝して生活するように考えていきたいと思っています。

緊急事態宣言下の授業は、子どもにとって制限の多い、窮屈なものになってしまうことは避けられません。しかしながら、感染予防の知識とマナーは、子どもであっても身に付けなくてはならないスキルです。これから年末までの4か月間は、年度内におけるもっとも長いスパンで教育活動を実施する期間になります。

学校職員が一丸となり、感染予防についての教育と対策を行いつつ、「学びをとめない」という言葉を心に留め教育活動を行っていききたいと思っています。

現在学校では、教育委員会から示された通知やガイドラインを基に、急な学級閉鎖等に備えた GIGA 端末を活用した授業の準備と共に、これからの学校行事や様々な活動について、計画の再検討を行っております。

先の見えない感染の状況のもとでは、実施をお伝えした活動であっても、中止や延期、方法の変更の可能性があります。手紙やメール配信、学校ホームページを活用し、できる限り早くお知らせするようにいたしますが、状況によっては、直前になってしまう場合もあり得ることをご理解いただけますようお願いいたします。

厳しい感染状況が続いております。地域の皆様、保護者の皆様もどうぞご自愛いただけますよう、そして今後も、本校の教育活動に対するご支援、ご協力を、どうぞよろしくをお願いいたします。